

◇入笠山・蓼科山

平成 29 年 1 月 7 日 (土) 夜～9 日 (月) 鳴原(L)、真鍋、右田(記録)

正月から良い天気が続いていたがこの連休だけピンポイントで天気が悪そう。1 週間前から天気予報を追うが一向に変わらない。しかし、高層天気では雪になっているので決行と決める。当初は、入笠山のみでのんびり山行の予定だったが、私のリクエストで蓼科山にも登ることに。

1/7(土) 20 時新大阪駅出発

道路は積雪もなく、順調に走る。

1/8(日) 展望の良い入笠山

PA 原 1:30 着(テント泊) 7:00⇒8:10 沢入→9:00 山彦荘→9:50 入笠山→山彦荘→11:20 沢入⇒13:00 すずらん峠(テント泊)

沢入にテントを張っても寒いだけなので、高速を下りずに PA でテント泊。コンクリートの上で寒さも防げる。早朝、PA から沢入の登山口へ。道路は雪もなく、快適。当初は、スノーシューハイクの予定だったが、積雪量が少ないので、通常の登山に切り替える。ところどころ凍結しているが、アイゼンなしで頂上へ。思っていたより天気が良く、頂上は 360 度のパノラマで、富士山、八ヶ岳、南・中央・北の各アルプス、御岳、乗鞍など展望を楽しむ。寒さもそれほど感じない。証拠写真を撮り沢入へ下山。明日登る蓼科山の登山口であるすずらん峠へ向かう。すずらん峠は標高 1,700m 程度あるので流石に駐車場も雪が積もっている。駐車場脇の草付きを除雪し、テントを張る。寒いのでテントに入り、昼過ぎから宴会。今回、食事係をお願いした真鍋さん特製の料理をご馳走になる。夕方から雪が降り出し、早朝まで降り続ける。この間、トイレ以外はテントで、飲んで食べて喋ってと楽しい時を過ごす。夜中、除雪車の音で何度か目が覚めたが、思ったほど寒くなく熟睡する。



山彦荘から入笠山への登り



入笠山頂上



八ヶ岳



甲斐駒

9(月) 蓼科山頂上一番乗り

すずらん峠 8:20→12:00 蓼科山→14:30 すずらん峠 15:00⇒20:00 新大阪駅

早朝、まだ粉雪が降っているが、天気は回復傾向。日帰り登山の車が3～4台程度駐車場に入ってくる。先にトレースを着けて欲しい思いもあるが、なかなか出発しないので、先に行く。積雪は10cmから15cm程度。ラッセルの必要はない。途中、女性3人パーティーと男性パーティーの二組と入れ替わりながら進む。樹林帯を過ぎると石が積み重なった頂上直下に出る。この付近から、先行し、頂上にこの日一番乗り。登ったことがなかったので、頂上の景色は知らなかったが、こんなに広い頂上とは想像できなかった。前日同様、好天に恵まれ、展望よし。天気が良すぎて下山は春山のように。日帰りの登山客を交わしながら、すずらん峠まで無事下山。真鍋さんは足を痛めてこの日はテントキーパーの予定だったが、蓼科山対面の八子ヶ峰にスノーシューハイクしたとのこと。折角持ってきたスノーシューが使えて満足の様子。雪不足を覚悟していたが、そこそこの新雪で楽しめた山行だった。



すずらん峠